

平成29年4月

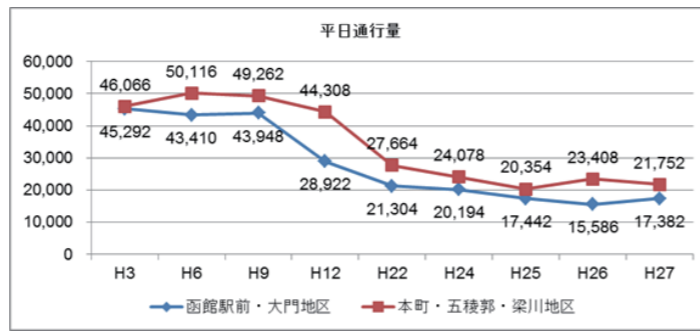
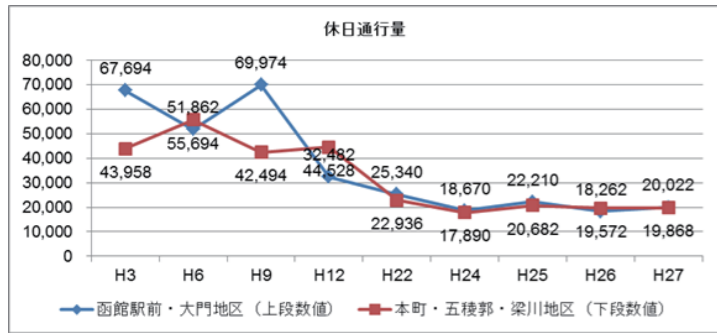
「はこだてグリーンプラザ」整備基本計画

---

## 1. はこだてグリーンプラザを取り巻く環境

### 1-1 函館駅前・大門地区の現状

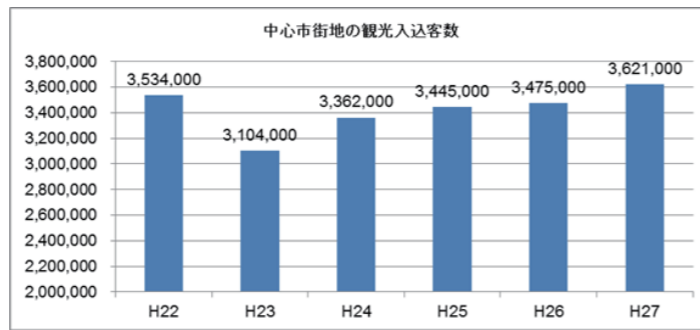
#### 1-1-1 歩行者通行量



#### 1-1-2 空き地・空き店舗

	H22	H23	H24	H25	H26	H27
空き地	27件 10,247㎡	25件 8,970㎡	25件 8,746㎡	24件 7,242㎡	25件 8,726㎡	27件 7,220㎡
空き店舗	205件	229件	220件	255件	260件	243件

#### 1-1-3 観光入込客数

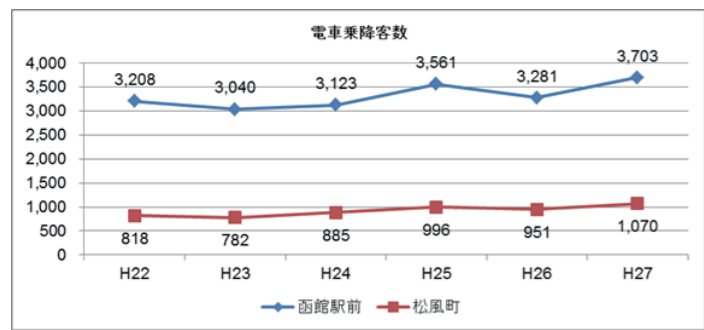


#### 1-1-5 函館駅前・大門地区の現状のまとめ

函館駅前・大門地区については、歩行者通行量など量的な指標において、中心市街地活性化基本計画策定前の平成22年、またはそれ以前と比較すると、大幅に減少(空き地空き店舗は増加)してきていますが、中心市街地活性化基本計画の推進などにより、平成27年度に若干ではありますが改善がみられているところです。

再開発ビルに公共施設がオープンしたことや、グリーンプラザの整備を進めることにより、来街者が回遊し、楽しむエリアとしての賑わいが期待できるものと考えます。

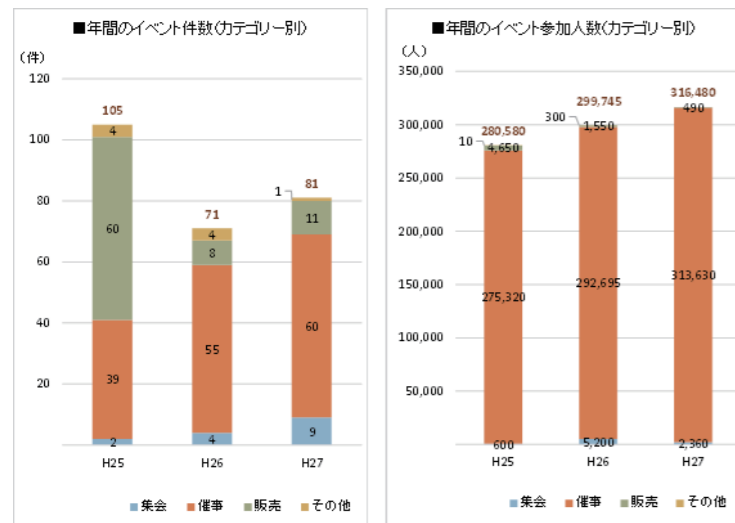
#### 1-1-4 電車乗降客数



### 1-2 はこだてグリーンプラザの現況

#### 1-2-4 イベント等の実施状況

##### (1) イベント件数と参加人数



近年のイベント等の実施状況は、催事の開催が増加傾向にあり、同様にイベントへの参加人数も増加しています。

移動販売を中心とした物販飲食は、10件程度となっているものの、再整備による魅力づくりによって、日常利用が増進し、食へのニーズが高まるものと期待されます。

年間のイベント稼働率は、約27%程度ですが、イベントへの参加人数が増加している結果などから、イベント開催のための機能をさらに高めることにより、今後も利活用の増進が期待されます。

一方、イベントが開催されていない日常的利用の状態が、約7割といった状況から、日常利用にふさわしい空間づくりとイベント開催のしやすさの両立に配慮することが求められます。

## 2. はこだてグリーンプラザの課題

### 2-1 市民および地域ニーズの把握

#### 2-1-1 市民アンケートの実施

【グリーンプラザの利用目的】

- ・お祭り等のイベントや催事 84.1%

【グリーンプラザを改修する際に大事に思うこと】

- ・イベントや催事が楽しい賑わい 67.6%
- ・休憩や散歩など、過ごす場所としての落ち着き 38.3%

#### 2-1-2 イベント主催者、町会ヒアリングの実施

【主な意見】

- ・もっと日常過ごせる緑豊かな空間を整備して欲しい。
- ・芝生や噴水など水施設を導入してはどうか。
- ・イベント用の路面仕上げの広場は確保して欲しい。
- ・トイレは、電車道路を挟んで北側にも整備して欲しい。
- ・電気や給排水施設の箇所数・容量が不足している。

#### 2-1-3 学生ワーキングの開催

【主な意見】

- ・日常過ごせる場所としての潤いや心地よさが必要。
- ・親子で楽しむ遊びや食をもっと入れる。
- ・水辺や園路、樹木のライトアップ。
- ・イベント用具の収納は、Bブロックに設置する。

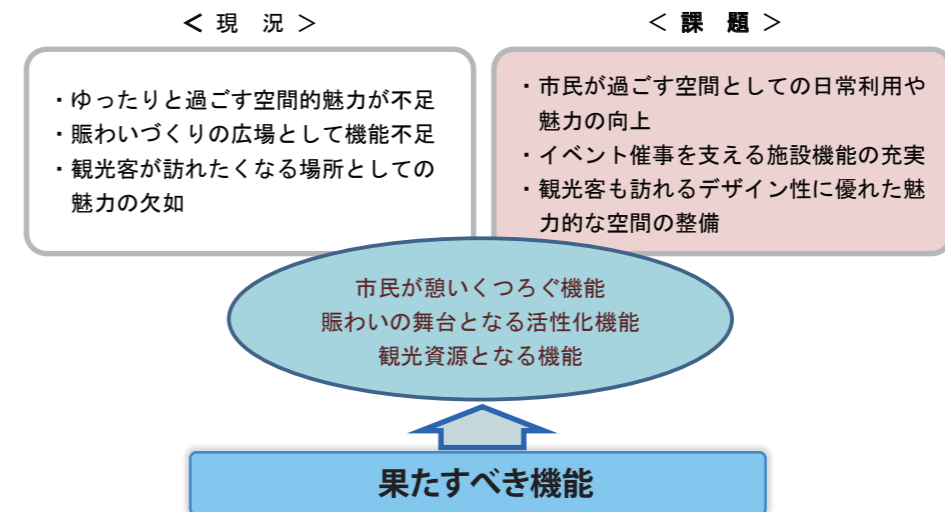
#### 2-1-4 市民説明会の開催

【主な意見】

- ・イベント時の使い勝手に配慮すること。
- ・交通に関する安全管理に配慮すること。
- ・既存の樹木やモニュメントの取り扱いを整理して欲しい。
- ・計画検討の周知をしっかりと行うこと。
- ・整備内容、交通計画の変更検討、年次計画等については、合意形成の上進めること。

### 2-2 果たすべき機能と整備の基本的視点

現況と課題を踏まえ、市民、イベント、観光客をキーワードに以下のとおり果たすべき機能を設定します。



はこだてグリーンプラザの果たすべき機能を整備するため、以下の基本的視点から検討します。

- ① 中心市街地活性化の視点
- ② 市民の暮らしと都市観光への視点
- ③ 新たな都市・環境デザインの視点

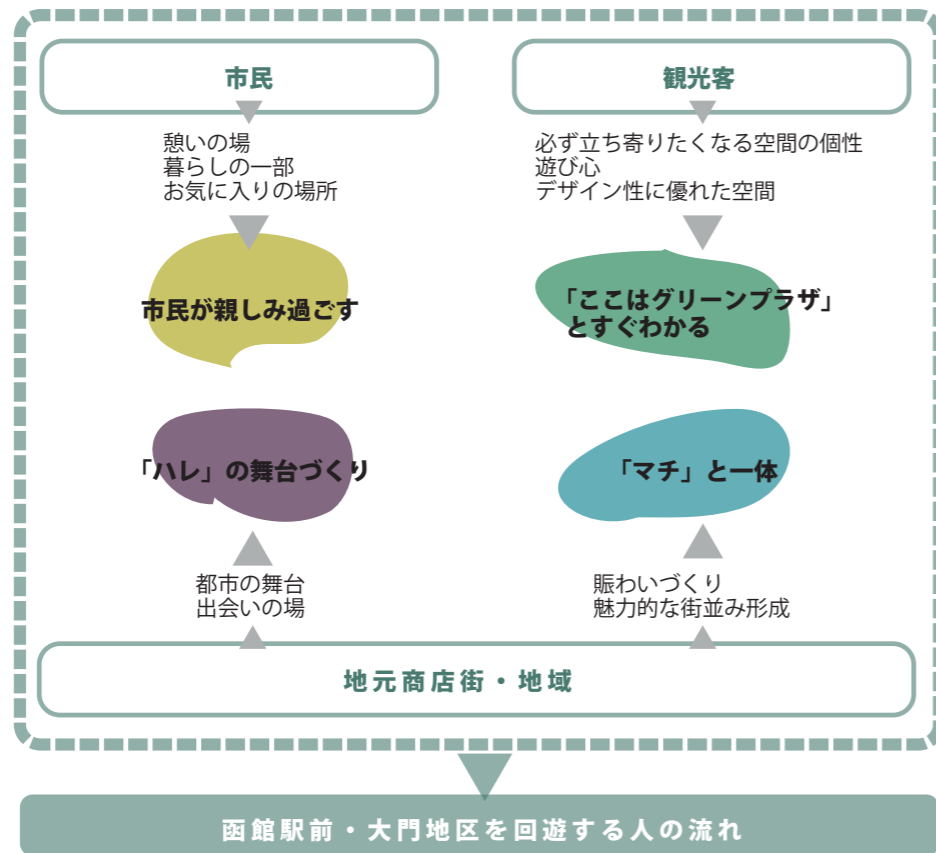
### 3. 基本コンセプトおよび基本方針の設定

#### 3-1 基本コンセプト

市民そして来訪者もここで過ごしたくなる、新しいグリーンプラザ  
～日常の潤いある空間再生と新たな魅力づくり～

#### 3-2 基本方針

- (1)市民が親しみ過ぎず、心地よい広場づくり
- (2)ここはグリーンプラザ、とすぐにわかる魅力づくり
- (3)皆が心待ちする「ハレ」の舞台づくり
- (4)「マチ」と一体となった広場づくり



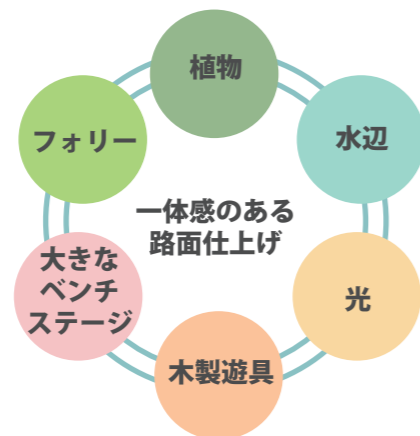
### 4. 整備計画

#### 4-1 はこだてグリーンプラザの魅力の演出

- グリーンプラザの顔となる、永く定着していく要素の導入
- ここで写真を撮りたいと思う空間の演出

#### 昼間の魅力

- ・子どもから大人まで憩い、楽しむ事ができる。しかも個性的で被写体となるようなフォリー、木製遊具、ウッドデッキ、ベンチステージのデザインと配置。
- ・憩える芝生、四季によって異なる姿を見せる樹木と草花。
- ・水路や遊具などで戯れる子ども達。



#### 夜の魅力

- ・新しく函館の夜の風景として加わるフォリー、ベンチステージのやわらかい光で演出された夜の物語。
- ・わざわざ見に来たくなる動きのある光の演出や仕掛け。
- ・木、植物は光の背景となり、その成長により魅力に変化が生まれる。

6つのアイテムを活用し、様々な仕掛けを展開  
～市民そして来訪者もわざわざ行きたくなるグリーンプラザ～

#### 4-2 3つのブロックの整備テーマの設定

はこだてグリーンプラザを構成する3つのブロックに、それぞれの場所の特性と担うべき役割に配慮し、それらに応じた特徴をもった整備テーマを設定します。

##### 【Aブロック】花とみどりと森

- ・樹木や宿根草による緑の構成で、地域の魅力が通年連続する〈花〉の仕掛け。
- ・地域の高齢者や家族連れが日だまりや緑陰でゆったりと過ごすことのできる空間づくりを目指す。

##### 【Bブロック】催しの舞台

- ・日常時は利用者が滞留しやすい空間として芝生広場を設け、常設のステージは大きなベンチとして使用。
- ・周辺の既存店舗や空地利用等との連携を図り、多くの催しが少ない労力で開催しやすい広場を目指す。

##### 【Cブロック】暮らしと遊びのプラザ

- ・裸足で安心して遊べる大きなウッドデッキや、冬でも遊べるガラスのフォリー、水路、給排水機能を持つフォリーで構成。
- ・子ども達の遊ぶ姿とそれを見守る親、高齢者の姿をテーマとした空間を目指す。

### 5. 管理運営計画

#### 5-3 維持管理費の想定

本整備計画の整備内容で、現行から新たに発生する主たる施設の維持管理要素は、以下のとおりです。

- 建築施設の水道光熱費=1,800千円増
- ライトピラー等夜景光熱費=900千円増 (通年・6時間運転)
- 水路施設の水道光熱費=1,000千円増 (5月～10月稼働・18時間運転)
- 宿根草・フォリー壁面緑化・芝生管理=500千円増
- 遊具等安全管理・清掃等=300千円増
- 利用促進に係る事業の人件費=2,000千円増

これらの経費の増加により、現行の指定管理料約8,600千円が、約75%増の約15,000千円の年間維持管理費が見込まれることとなります。

### 6. 概算事業費および整備スケジュール

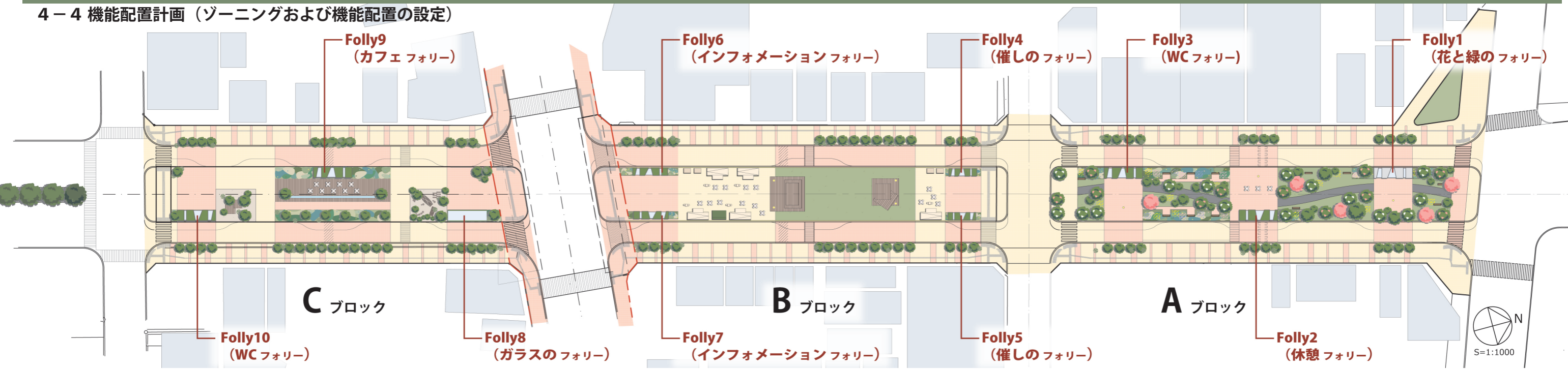
#### 6-1 概算事業費

	Aブロック工事費	Bブロック工事費	Cブロック工事費	全体事業費
広場整備	84,900千円	87,800千円	173,600千円	346,300千円
道路整備	119,300千円	106,600千円	86,800千円	312,700千円
建築整備	82,400千円	42,800千円	65,700千円	190,900千円
撤去費	30,800千円	34,600千円	35,100千円	100,500千円
合計	317,400千円	271,800千円	361,200千円	950,400千円

#### 6-2 整備スケジュール

	平成29年度	平成30年度	平成31年度～33年度
基本設計	社会実験①		
実施設計		社会実験②	
整備工事			

#### 4-4 機能配置計画（ゾーニングおよび機能配置の設定）



#### C ブロック 暮らしと遊びのプラザ

##### 整備する機能

- フォリー（3棟）
  - ガラスのフォリー：子どもを始め、観光客も大人も関心を持つ遊具を設置。
  - テラスフォリー：ウッドデッキで遊ぶ子ども達を見守るため一体的に利用。
  - WCフォリー：多目的、男子、女子トイレ。
- ウッドデッキ
  - ・安全な浅いスリット状の水路を設け、水遊びと光の演出の仕掛けを行います。
- 森の木製遊具
  - ・大きな樹種を植樹し、樹間に木製の遊具などを設置します。
- ウッドチップ
  - ・木製遊具等の足元に子ども達が安心して遊ぶことができるウッドチップを厚く敷き込みます。
- 街路樹
  - ・ハクウンボクやトチノキ等の樹種を良く吟味して、バランス良く配置します。
- 空間の魅力を高める仕掛け
  - ・ガラスのフォリーには、デザイン性の高い遊具を配置し、夜間には、水路とガラスのフォリーにより光の演出で美しい空間を作り上げます。

#### B ブロック 催しの舞台

##### 整備する機能

- フォリー（4棟）
  - 催しのフォリー：イベント時に使用する備品などを収納する倉庫。
  - インフォメーションフォリー：インフォメーション機能や休憩所として利用。
- 芝生の憩いの広場
  - ・芝生に座ったり寝転んだりくつろげる空間として大きめに確保します。
- 2つの大きなベンチステージ
  - ・普段は、ベンチとして利用し、イベント時にはステージとして利用できます。
- 停車エリア
  - ・移動販売車などの停車エリアを設け、移動カフェなど広場に人を集めるツールとして機能できるエリアを整備します。
- 街路樹
  - ・ハクウンボクやトチノキ等の樹種を良く吟味して、バランス良く配置します。
- 空間の魅力を高める仕掛け
  - ・イベント時に仮設し、ショップやバーなど多様な機能に対応可能なデザイン性に優れたキャビンの導入を検討します。



#### A ブロック 花とみどりと森

##### 整備する機能

- フォリー（3棟）
  - 花と緑のフォリー：花と緑の管理、活動のための拠点機能。
  - 休憩フォリー：休憩所として利用。
  - WCフォリー：多目的、男子、女子トイレ。
- マグノリアの森
  - ・マグノリアを中心に森をイメージして整備し、桜の季節の前に咲く春一番の花の見所として演出します。
- 街路樹
  - ・ハクウンボクやトチノキ等の樹種を良く吟味して、バランス良く配置します。
- ベンチ
  - ・デザイン性の高い、座ってみたくなるようなベンチ等を用意し、日だまりや緑陰のベンチで快い時間が過ごせ、訪れる人の「お気に入りの場所」を創れる空間とします。
- 空間の魅力を高める仕掛け
  - ・定期的にハンギングバスケットなどの教室や花のマルシェなどを開催し、市民や観光客が気軽に楽しめる場を目指します。



### 7. 今後に向けて

#### 7-1 今後の課題

##### 7-1-1 基本・実施設計に関する事

##### (1) 既存施設の保全・移設の調整

- ・既存樹木：保全または移植に当たっては、樹木診断等を行い適切な判断を行います。
- ・モニュメント等：整備区域内で空間デザインとの調和を図りつつ検討します。区域外への移設を検討する場合は、寄贈者の理解、移転先の施設管理者との調整に配慮します。

##### (2) 道路と広場のフラット化の検討

道路と広場のフラット化は、最終的に道路と広場の一体的な利用を念頭に、交通規制も含めて検討します。ただし、広場整備のスケジュールと交通規制等の実施見通しが整わない場合は、将来的にフラット化とすることを想定し、大規模な改修が伴わずに可能となるよう段階的に整備することも留意しながら検討します。

##### (3) 無電柱化の検討

無電柱化による景観形成を図ることが望ましいと考えますが、市単独による整備では、事業費の負担が大きいため、費用負担の小さい電線共同溝方式により、電線管理者等の費用負担での実施を念頭に、無電柱化協議会等での選定に基づく整備推進を検討します。

##### (4) 誰もが来たくなる演出効果

ハード整備にあたっては、はこだてグリーンプラザに人を惹きつける仕掛けを常に考えながら整備する必要があります。

##### (5) その他必要な事項

基本・実施設計にあたり必要な事項については、国道管理者、警察、北電、NTT等の関係機関との協議および調整を図るとともに、庁内における協議および調整を図って行くこととします。

##### 7-1-2 整備後の管理運営に関する事

##### (1) 賑わいづくりの推進・企画運営の検討

賑わいづくりについては、メニューづくりや運営方策の検討を基本・実施設計と合わせて調整しながら行い、必要に応じて社会実験などの試行を検討します。

##### (2) 管理運営手法等の検討

管理運営手法等は、基本・実施設計と合わせて調整しながら、維持管理とともに企画運営にかかる検討を進めていく必要があります。

